

エコドライブ

物流効率化

大手企業が経営方針として、輸送効率向上を推進した結果、既に、かなり成果を上げている。

- ・**自営 営業へのシフト**
- ・**デジタル・タゴグラフによるエコドライブ**
- ・**速度規制**

.....

現在、省エネ法改定を国会審議中

- ・荷主側にも、努力義務発生

今後、多くの中小企業まで協力が得られるかどうか、が鍵。

燃費の車載情報提供例

【レガシイ】

瞬間燃費をリアルタイムで表示するタイプのカーナビ



【ランサー】 平均燃費を表示。



【シビックフェリオ】エコランプ。
効率的なエネルギーの利用でランプが灯る。

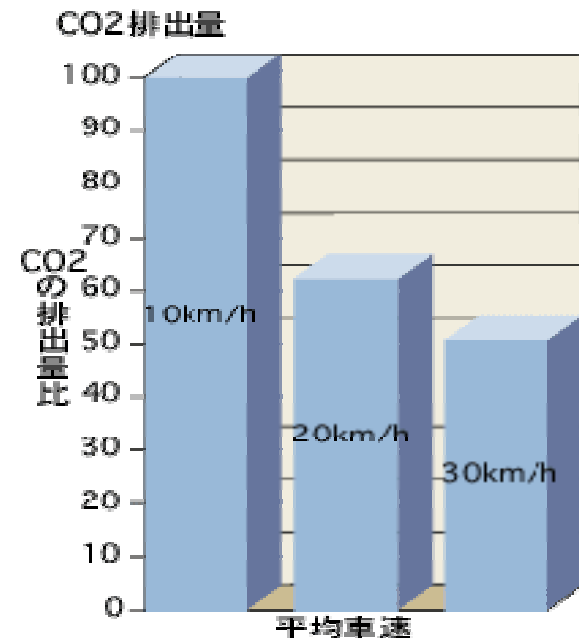


インフラ対策 (交通システム)

交通流対策の重要性(自工会主張)

運輸部門のCO₂削減に関しては、自動車単体対策のみならず、交通対策・物流対策の各施策に対してもPDCA(plan、do、check、action)のサイクルを確実に回し、大局的な議論をすべき。

- ・日本は欧米に比べて交通渋滞のため、平均速度が低い。
- ・交通流改善による走行速度のアップは燃費に効果的であり、積極的に施策に取り組むべきである。



出典(財)日本自動車研究所資料より作成

ITSによる交通流改善

VICS： 道路交通情報をリアルタイムに提供



VICS車載機 累計1,044万台 (2004年9月末現在)
カーナビ 累計1,622万台 (")
(出典:国土交通省HP)

2002年度現在 95万トン CO2削減

(以下写真 : 国土交通省HP)

(出典:社会資本整備審議会環境部会中間とりまとめ(平16年6月))

ETC： 自動料金支払いシステムによるノンストップ通行



2002年度現在 0.5万トン CO2削減

(出典:社会資本整備審議会環境部会中間とりまとめ(平16年6月))

信号制御(MODERATO等)の高度化：リアルタイムに信号制御等



96～00年度累計(推計) 131万トン CO2削減

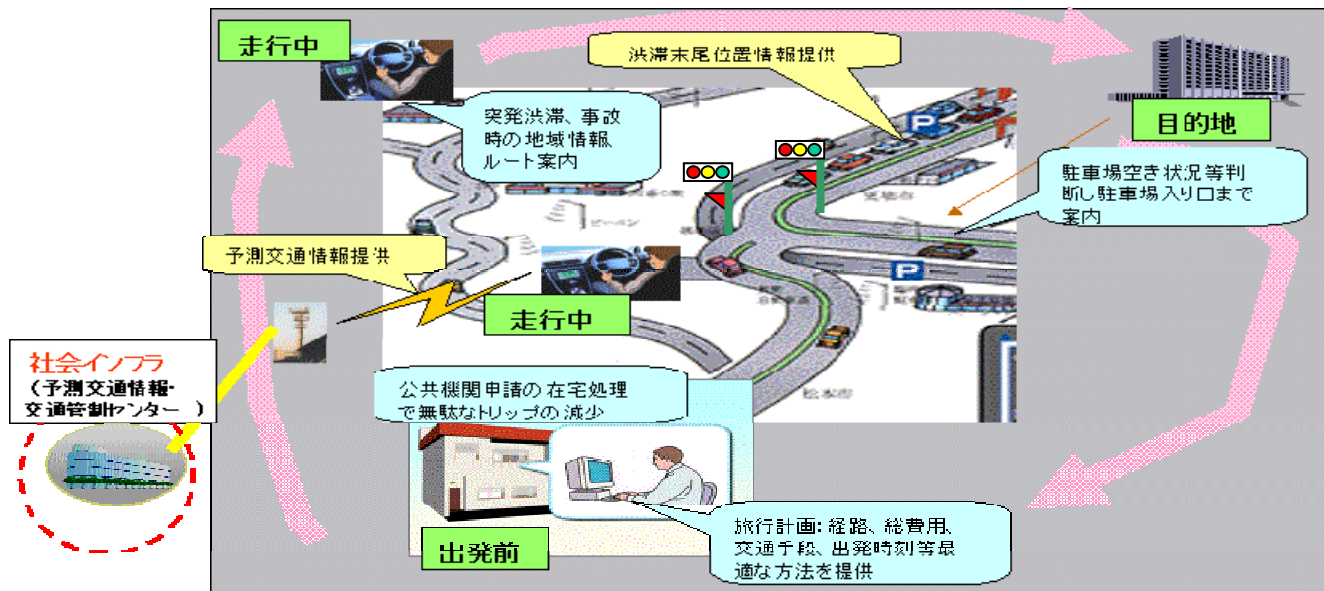
(出典:「特定交通安全施設等整備事業の整備効果」警察庁HP)

その他：

テレマテックス / プロブカー / バスロケーションシステム / 物流ITS等

交通流改善の総合的取り組み

交通流改善対策は様々な方策が検討されているが、より効果を高めるためには総合的な施策推進・一体的整備が重要。



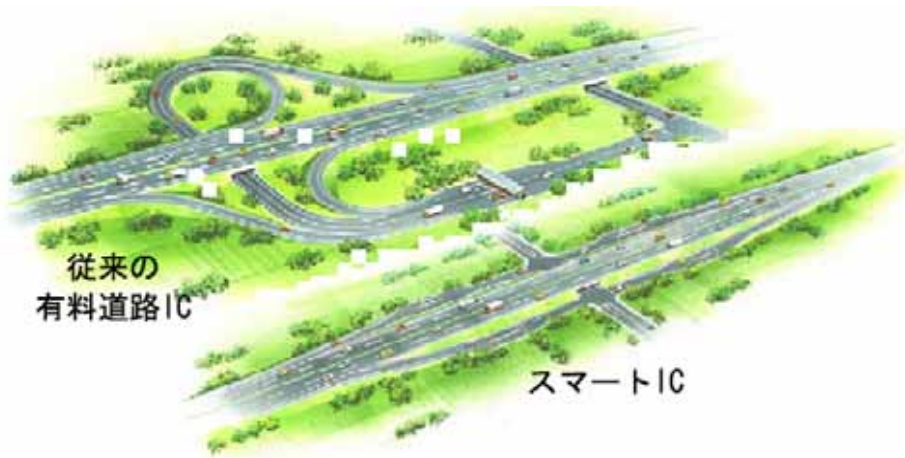
想定システム

- 1) 情報収集
 - ・VIC S (光ビーコン)
 - ・プローブカー
 - 2) 情報提供
 - ・通信型ナビゲーション
 - ・VIC S
 - ・インターネットITS
 - ・駐車場案内システム
 - 3) 交通管理
 - ・信号管制の高度化
 - 4) ハード
 - ・駐車場の整備・改良
 - ・迂回路の整備
- 等

ETCの更なる活用例

柔軟な料金制度

スマートICの整備



【利用者】
時間短縮・燃費向上
利便性向上



【社会】
渋滞緩和
環境改善

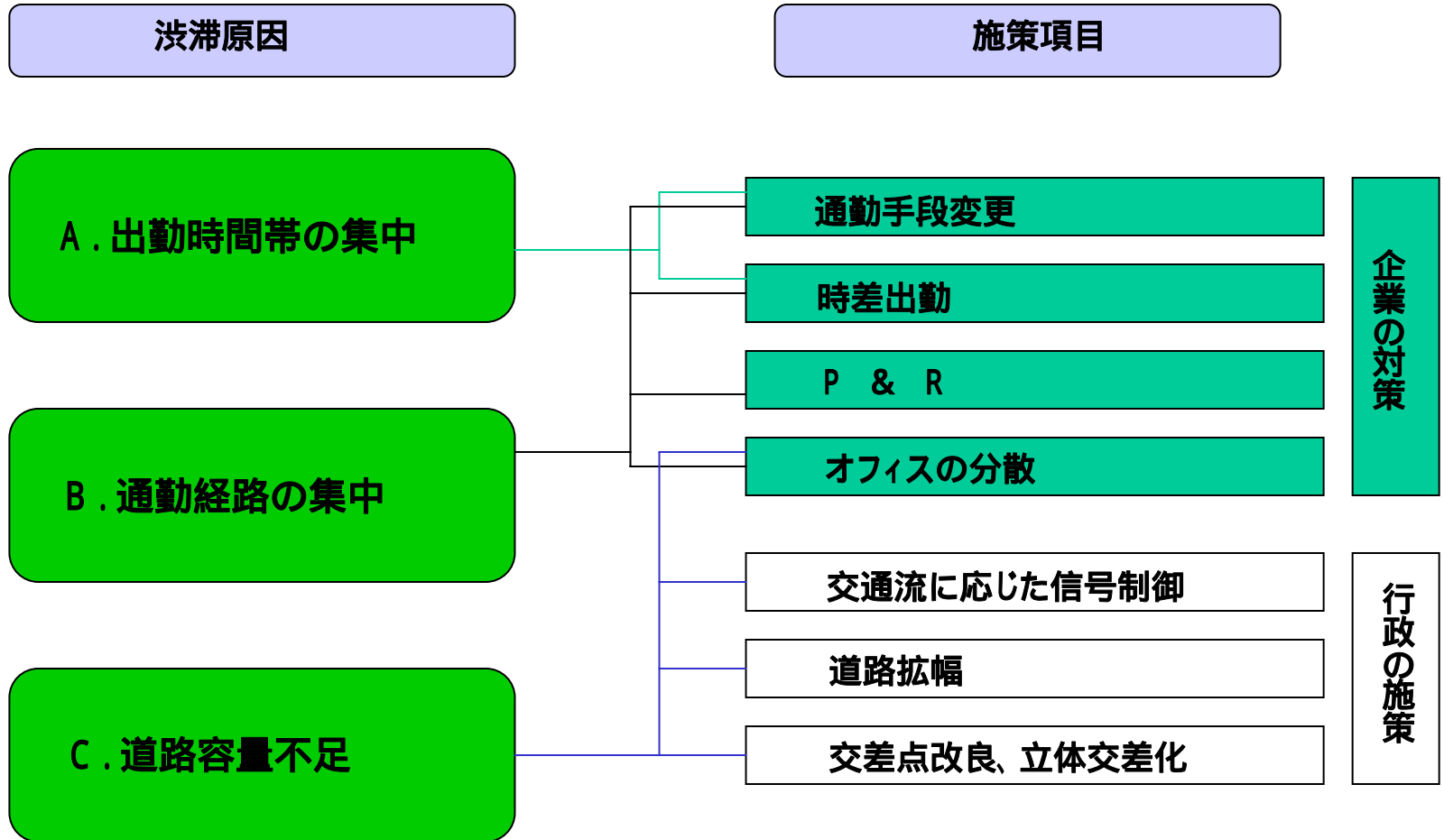


【建設・管理者】
コストダウン
経営効率化

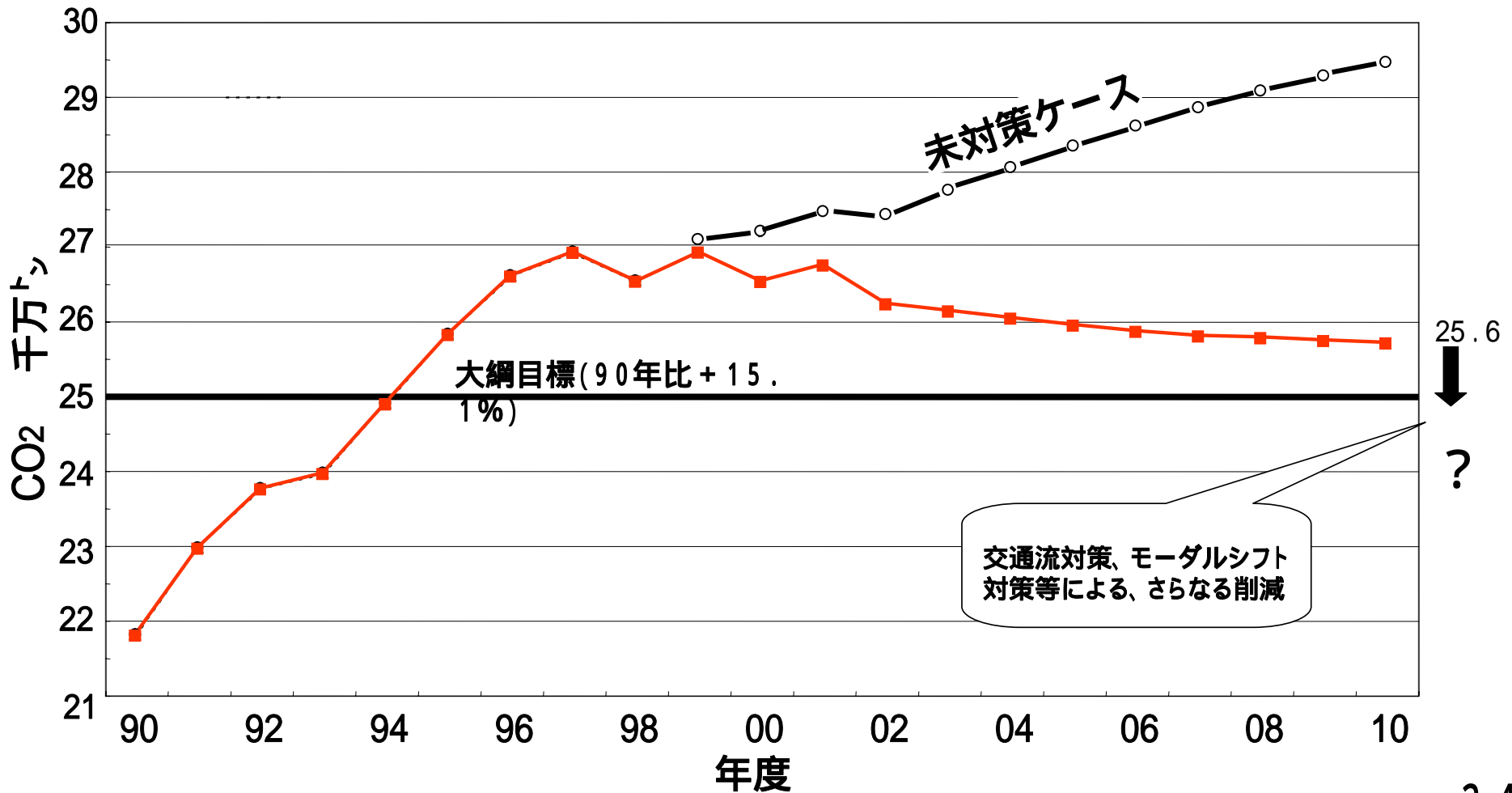
| | 従来（トランペット） | スマートIC | 削減 |
|-------|------------|-----------------------|-------|
| 建設コスト | 約35億円 | 約25億円 | 約3割削減 |
| 管理コスト | | 約5割削減 (人件費等が不要のため) | |

10年後のCO2削減効果
約300万トン

地域の取組みの一例：豊田市

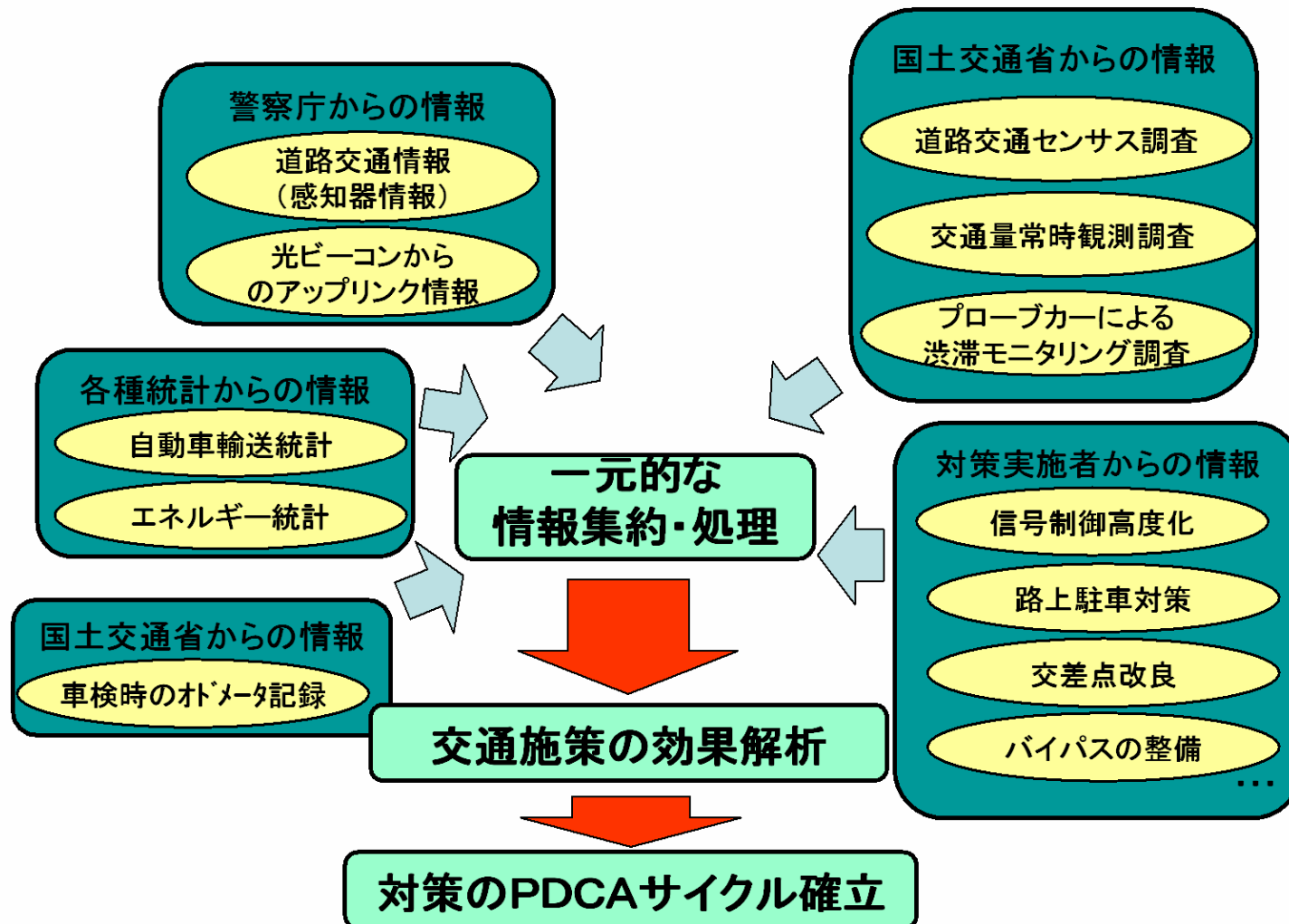


運輸部門のCO₂排出量予測(自工会)



CO2対策の PDCA

自工会提案「道路交通施策の評価体制イメージ」





EXPO 2005, AICHI, JAPAN

